国語　「たぬきの糸車」

３組７人全員での国語「たぬきの糸車」を学習しました。

実際に糸車を回し、糸をつむぐ真似をして、たぬきの気持ちを考えたり、台詞を言ったりしました。本物の具体物を使用することで、イメージがどんどん湧いてきて、糸車を回すたびに「キーカラカラ　キークルクル」と子どもたちは、いつしか自然と口ずさんでいました。

最後に、「一番のお気に入りの場面はどこ。」と尋ねると、「二つのくりくりした目玉がやぶれしょうじからみえるところ。」や「月の明るいしょうじに糸車を回す真似をするたぬきの影が映るところ。」など、この物語を初めてきいたころと違ったお気に入りの場面に変化していてとても驚きました。

この１か月間、登場人物のたぬきになりきっていた愛らしい７人でした。